

工業部会通信

相模原商工会議所
工業部会発行

編集
かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042(851)2021
プリントしてご自由にお読み下さい。



青工研が役員選任総会を開催 次年度会長に河野氏



新会長に決まった河野氏

相模原市青年工業経営研究会（青工研）の2014年度「次年度役員選任総会」が16日、市立産業会館で開かれ、新会長に河野崇氏（河野製作所社長）を選任した。河野氏は現在副会長を務め、2002年に青工研に入会したベテラン。これまでも多数の役職を経験しており、会の運営も熟知していることなどが推薦理由となった。

青工研会員で組織される「2014年度次年度役員選考委員会」（井上博史選考委員長）が主催した。総会では、河野新会長以下、副会長に鈴木道雄氏（永進テクノ社長）、横江利夫氏（旭フオークリフト社長）の2人を決定。監事には大塚正浩氏（大塚鉄工所社長）、古川弘司氏（フアクター社長）の2人、次年度から新設する「会員拡大理事」には稲場純氏（リガルジヨイント社長）が決まった。渉外理事は大峰英一氏（タイホー社長）、財務理事に新海肇氏（新海製作所社長）となった。一方、担当理事には酒巻利光氏（テクノフロン



河野会長（中央）と次年度の青工研役員

テ社長、原田真弥氏（原田製作所社長）、中村勝彦氏（中村電機社長）、馬本伸行氏（日本テクノ取締役）の4人を選出した。総会では河野氏を新会長とする新体制案が提示された。河野氏は次年度の会活動の方針である統一テーマとスローガンについて「『選択と集中』経営環



総会会場の様子

境の変化に対応しろ」を掲げた。また、あいさつでは「大手企業は景気回復を実感しているかもしれないが、中小・零細企業にとってはまだ厳しいといえる。その中で、（中小企業経営者が）今やらなければならないことは、選択と集中だ。強みを見つけて足場を固めることで、将来、景気回復が本格化したときに成長できるようにしていく」と述べた。河野会長以下の新体制では4月1日からスタートする。任期は各役員ともに1年間となっている。

集え！市内の工業人

2月に会員交流大会

工業部会会員に垣根を超えた交流を持ってもらおうと、「第3回会員交流大会」が2月9日の午後7時から、杜のホールはしもと・多目的ホールで開かれる。工業部会KIZUNAプロジェクトの主催。部会活動への参加経験がない人やビジネスチャ

ルフの腕前」など、さまざまな話で盛り上がり、交流を深めていた。女性経営者の参加もあった。今回の第3回大会では、①津久井・城山・相模湖・藤野の4商工協会の協力のもと、同地域からの参加も募集し、新たな交流を創出②ミニセミナーイベントの実施などが目玉となっている。

ミニセミナーでは、新しい工業排水管理法「WET試験」について、一般財団法人・生物科学安全研究所から講師を招く。また、法律セミナー「企業経営におけるトラブル対策（仮）」も行い、弁護士法人・高瀬総合法律事務所の高瀬芳明弁護士が講演する。

また、法律セミナー「企業経営におけるトラブル対策（仮）」も行い、弁護士法人・高瀬総合法律事務所の高瀬芳明弁護士が講演する。

西武信用金庫は27日午後6時～同8時半まで、矢部支店（中央区矢部）内で、「国際ビジネス最前線！ASEAN新春合同勉強会」を開く。「チャイナプラスワン」

活動テーマは「選択と集中」

それぞれテーマを分けて配置する。参加者たちは、自分が関心あるテーマのテーブルに自由に行くことができる。参加費は2000円。問い合わせは、産業振興課（042-753-8136）まで。

西武信用金庫 国際ビジネス最前線 アセアン諸国の勉強会

西武信用金庫は27日午後6時～同8時半まで、矢部支店（中央区矢部）内で、「国際ビジネス最前線！ASEAN新春合同勉強会」を開く。「チャイナプラスワン」

として脚光を浴びているASEAN諸国がテーマ。国際ビジネスの最前線が活躍する関係者たちが、最新動向などについて解説する。また、勉強会と同時に個別相談会の開催も予定。地域の中小企業の海外事業展開をサポートしていく。当日の予定は以下の通り。【第一部基調講演】ベトナムの最新動向（国際協力銀行）【第二部】アセアンにおける物流事情（日本通運）【第三部】ベトナムのレンタル工場について（ユニカホールディングス）【第四部】海外子会社融資、海外補助金について（西武信用金庫）。問い合わせは、同信金業務推進企画部03（384）6111まで。

低炭素社会をめざして 星に願いを込めました。

いま東京ガスが目指しているのは、低炭素社会の実現です。その核となる取り組みが「スマートエネルギーネットワーク」。太陽熱・太陽光などの再生可能エネルギーを積極的に取り入れ、それらを天然ガスがバックアップ。不安定な再生可能エネルギーをガスコージェネレーションシステムと組み合わせ、未利用熱も活用しながら、地域で電気や熱を融通し合うことで、最適なエネルギー利用を実現します。

低炭素社会へ。東京ガスは取り組んでいます。
<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS

スマートエネルギーネットワーク
低炭素社会への近道を、7つの星が教えてくれました。

未利用熱
太陽熱
熱融通
天然ガス
電力融通
太陽光
バイオ・風力等

低炭素社会

星座の位置はイメージです。撮影場所：長野・東京ガスの森